

事務事業評価票〔市単独補助金〕

平成 31 年度

		担当課		市民安全課				
基本事項	補助金（事業）名	島原防災塾運営委員会補助金					整理番号	0709
	根拠法令等	島原防災塾運営委員会補助金交付要綱					実施を義務付ける規定	○あり ◎なし
	関連する市勢振興計画の基本計画	章 第4章 安全・安心と安らぎの環境を整える ▼	予算科目	9 款 1 項 4 目	◎継続 ○新規			
		節 第4節 消防・防災の推進 ▼	区分	団体の運営費に対するもの ▼				
事業概要等	補助金交付の対象（団体名等）	島原防災塾運営委員会					実施期間	始期 平成 26 年度から 終期 平成 年度まで
	事業の背景及び概要（現状、課題）、または交付団体の活動目的、活動内容など	雲仙普賢岳噴火災害から28年が経過し、当時被災された方の意識も薄らぎ、風化していくのではと危惧されている。そのような中、未来を担う子供たちに雲仙・普賢岳噴火災害の噴火災害や土砂災害を座学や体験学習を通して、地域の生い立ちに関心を持ってもらい、将来に渡って災害を伝え、語り継がれていくことを目的とする。						
	目指す成果 （交付対象団体等をどのような状態にしたいのか）	島原防災塾の構築により、雲仙・普賢岳の噴火災害の記憶を風化させないよう、次代を担う子ども達に伝承し、後世に継承する。また地域での住民同士の交流も進み、大人と子供たちの交流の場もでき、コミュニティーの創造や育成につながるとともに、地域防災力の向上にも貢献する。						
	補助金交付内容等 （積算基礎等）	島原市内全小学校4年生～6年生希望者 50名（保護者含む） 雲仙・普賢岳噴火災害の伝承に係る経費 ①座学を行う会場借上げ ②屋外学習を行うためのバス借上げ ③参加記念品などの経費 として積算						
事業費等の推移	年度		27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	
	区分		実績	実績	実績	実績	予算額	
	補助金交付額(千円)		300	270	270	270	270	
	① 団体等事業費(千円)		822	283	271	280	270	
	② 会費等							
	前年度繰越金		0	0	0	0	0	
	市補助金		300	270	270	270	270	
	その他の助成金		522	13	1	10		
	その他雑収入							
	次年度繰越金(②-①)		0	0	0	0	—	
30 年度の当該団体等の事業費の主な内訳（市補助金が充当されていると思われるものから順に記載）（単位：千円）								
項 目		金 額		項 目		金 額		
事務費		4						
バス借り上げ料		42						
交流会費		100						
印刷費		105						
食糧費		29						
補助金の使途についての特記事項等								

○视点別分析

○総合評価と今後の方向性

◎2次評価

◎3次評価

評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況 (☑)

(島原防災整運営委員会補助金